

# 平成22年度（平成22年4月～平成23年3月） 渡島管内観光入込客数調査

渡島総合振興局 産業振興部 商工労働観光課

## 「観光入込客数調査」について

道における観光入込客数調査は、「観光入込客統計に関する共通基準」（H21年12月、観光庁）を踏まえ、平成22年2月に制定した「北海道観光入込客数調査要領」（H9年1月制定に準ずる）に基づき実施しています。

### <調査対象市町村>

本調査は、全道の市町村を対象に調査しています。

### <実人数>

1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地点を訪れても1人と算出します。

1人の観光客が1回の旅行で宿泊施設に2泊以上滞在しても1人と算出します。

### <総数>

市町村の実人数の単純合計です。（実人数に対して、延べ人数となっています。）

## 1 概況

- (1) 平成22年度（4月～3月、以下同様）の渡島管内の観光入込客数の総数は、約95万3千900人で、前年度より約29万1千人増、対前年比で103.1%となっており、4年ぶりに前年度を上回りました。

（単位：千人）

平成22年度	平成21年度	増減	対前年比
9,538.9	9,248.0	290.9	103.1%

- (2) 主な要因としては、前年度のような新型インフルエンザの影響による落ち込みが見られなかったことや、全国的な景気の持ち直しに伴う旅行需要の回復などが増加の要因と考えられます。

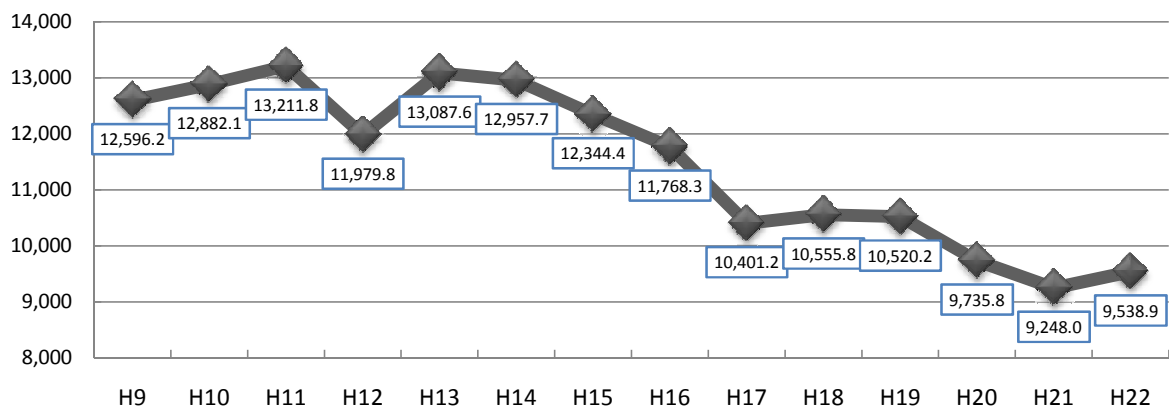
特に、道外客は対前年比104.8%と伸びています。これは、函館ー関西便が6月から9月まで増便されたことや、海外からのチャーター便が増加したことなどにより増加したものと考えられます。

- (3) 月別では、3月11日の東日本大震災の影響により、3月の観光入込客数が対前年比で約84.6%と大きく減少しました。

- (4) また、函館市においては、25万4千人（対前年比5.9%）の増加となりました。これは、新規施設のオープンや東北新幹線の新青森駅開業効果が主な要因と考えられます。

（単位：千人）

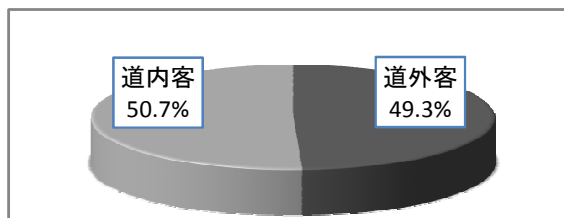
## 観光入込客数経年推移



## 2 道外客・道内容の状況

観光入込客数の総数 9,538.9 千人に占める道外客・道内容の状況は次のとおりです。  
(単位：千人)

	平成22年度	平成21年度	対前年比
道外客	4,702.3	4,487.2	104.8%
道内容	4,836.6	4,760.8	101.6%



## 3 月別の推移

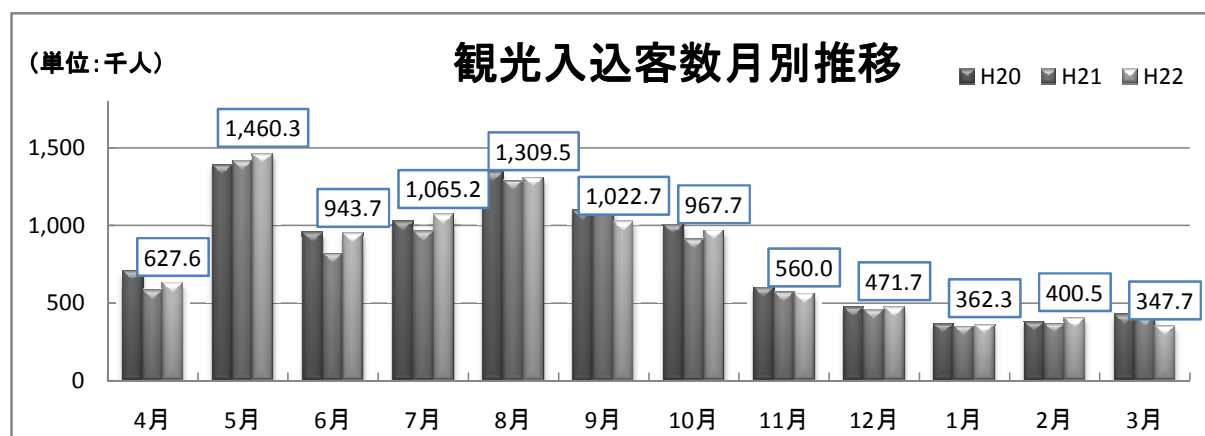
9月、11月、3月が前年同期を下回っています。

主な要因としては、昨年度は9月と11月に販売されていたJR東日本の「大人の休日倶楽部パス」が、今年度は6～7月及び1月へ変更されたことに加え、9月はシルバーウィークが昨年度のような大型連休とならなかった影響によるものと考えられます。

\* 「大人の休日倶楽部パス」・・・会員限定でJR東日本エリア全線及び函館エリアなどが乗り放題となるフリーパス

(単位：千人)

	平成22年度	平成21年度	対前年比
4月	627.6	579.8	108.2%
5月	1,460.3	1,414.1	103.3%
6月	943.7	816.6	115.6%
7月	1,065.2	954.5	111.6%
8月	1,309.5	1,285.8	101.8%
9月	1,022.7	1,138.7	89.8%
10月	967.7	910.8	106.2%
11月	560.0	568.1	98.6%
12月	471.7	452.5	104.2%
1月	362.3	348.6	103.9%
2月	400.5	367.7	108.9%
3月	347.7	410.8	84.6%



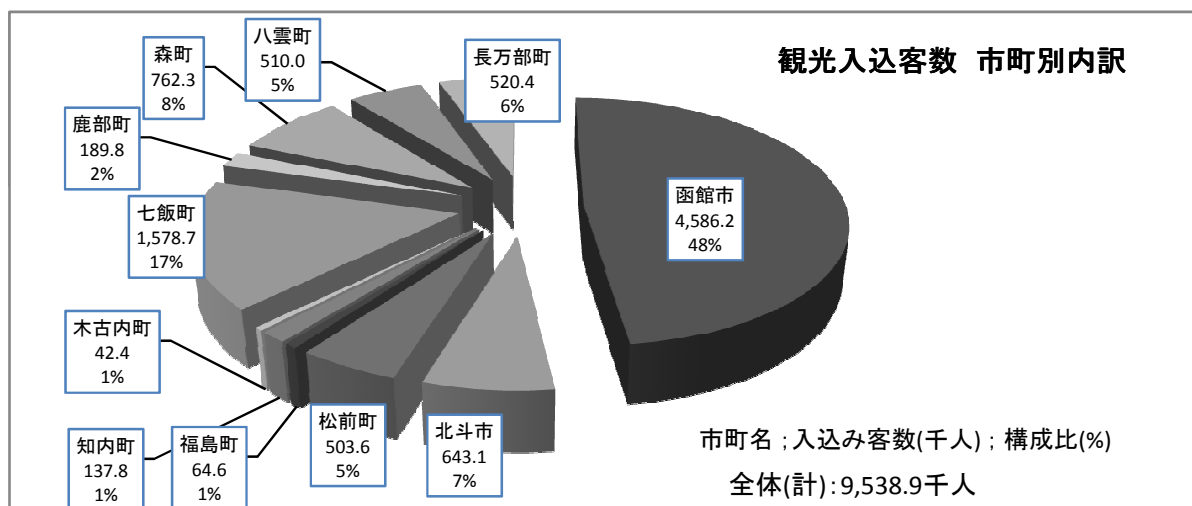
#### 4 市町別の状況

函館市、八雲町をはじめ、7市町が前年度を上回りましたが、七飯町、松前町を含む4町については前年度を下回る結果となりました。

減少した主な要因としては、桜の開花がゴールデンウィーク後と遅れたことや、宿泊施設・観光施設の一時休業が影響したものと考えられます。

(単位：千人)

市町名	平成22年度	平成21年度	増減人数	対前年比
函館市	4,586.2	4,331.9	254.3	105.9%
北斗市	643.1	593.5	49.6	108.4%
松前町	503.6	563.8	▲ 60.2	89.3%
福島町	64.6	73.2	▲ 8.6	88.3%
知内町	137.8	124.5	13.3	110.7%
木古内	42.4	38.2	4.2	111.0%
七飯町	1,578.7	1,658.5	▲ 79.8	95.2%
鹿部町	189.8	224.9	▲ 35.1	84.4%
森町	762.3	735.1	27.2	103.7%
八雲町	510.0	439.7	70.3	116.0%
長万部町	520.4	464.7	55.7	112.0%



平成22年度 渡島管内各市町観光客入込状況

(単位：「上段」千人 「下段」%)

市町名	入込数	内 訳				主 な 増 減 要 因 等
		道外客	道内容	日帰客	宿泊客	
函館市	<b>4,586.2</b>	<b>3,034.6</b>	<b>1,551.6</b>	<b>1,690.4</b>	<b>2,895.8</b>	3月は、東日本大震災の影響で大幅に減少したが、函館競馬場のリニューアルオープンや箱館奉行所の復元オープン、東北新幹線の全線開通などもあり増加となった。
	105.9	107.6	102.7	113.1	102.1	
北斗市	<b>643.1</b>	<b>36.6</b>	<b>606.5</b>	<b>617.9</b>	<b>25.2</b>	夏に好天が続いたことにより海水浴場の入込客数が増加したことに加え、温泉施設への入込客数が増加した。
	108.4	68.0	112.4	106.6	183.9	
松前町	<b>503.6</b>	<b>105.9</b>	<b>397.7</b>	<b>448.1</b>	<b>55.5</b>	桜の開花がG. W. 後に遅れたことや、周辺観光施設の入館者の減少が、大きく影響し全体的に入込が伸び悩んでいる。しかし、そのような状況でも、マグロまつりは、マスコミ等へのPR、各地に出向いてのマグロPR・販売活動の成果が見られたことから集客が増えている。
	89.3	90.8	88.9	87.2	111.0	
福島町	<b>64.6</b>	<b>5.9</b>	<b>58.7</b>	<b>62.5</b>	<b>2.1</b>	昨年のシルバーウィークのような大型連休とならなかったこと。また、吉岡温泉ゆとらぎ館の5月中旬～6月初旬にかけての館内修繕に伴う休館もあり減少となった。
	88.3	79.7	89.2	88.4	84.0	
知内町	<b>137.8</b>	<b>39.7</b>	<b>98.1</b>	<b>124.7</b>	<b>13.1</b>	「こもれば温泉」が、平成21年11月から約2ヶ月間営業を停止していたことにより、前年対比の数値が増加した。
	110.7	102.6	114.3	110.9	108.3	
木古内町	<b>42.4</b>	<b>2.1</b>	<b>40.3</b>	<b>40.9</b>	<b>1.5</b>	下期は前年並であったが、上期に温泉利用やスポーツ観戦等の観客が増えたことにより増加した。
	111.0	80.8	113.2	110.8	115.4	

※下段は対前年比

市町名	入込数	内 訳				主 な 増 減 要 因 等
		道外客	道内容	日帰客	宿泊客	
七飯町	<b>1,578.7</b>	<b>1,044.0</b>	<b>534.7</b>	<b>1,518.7</b>	<b>60.0</b>	上期については、昨年度新型コロナウイルスの影響で減少した反動により、対前年比で約8%の増加となったが、函館大沼プリンスホテル(11月～)、フレンドリーペアー(1月～)の冬季休業や東日本大震災の発生による3月の大きな落ち込みなどにより、全体を通して減少となった。
	95.2	99.8	87.3	95.6	86.3	
鹿部町	<b>189.8</b>	<b>23.4</b>	<b>166.4</b>	<b>158.4</b>	<b>31.4</b>	3月震災の影響で道外客が激減したが、道内容でカバーしているものの、8月に開催した「しかべ海と温泉のまつり」の入込が大きく減少し、年間をとおして減少となった。
	84.4	67.2	87.5	93.8	56.1	
森町	<b>762.3</b>	<b>105.4</b>	<b>656.9</b>	<b>699.7</b>	<b>62.6</b>	観光地点(1箇所)における入場者数のカウント方法見直しに伴う増加。 全体的には、桜の開花がG. W. 後と遅れたことなどによる減少となった。
	103.7	123.6	101.1	104.4	96.0	
八雲町	<b>510.0</b>	<b>132.3</b>	<b>377.7</b>	<b>487.5</b>	<b>22.5</b>	全体的な観光客の増は、好天に恵まれたことや、平成21年10月10日八雲PAの開園により、ハイウェイオアシスである噴火湾パノラマパーク利用者が増加し、2月に行われた「八雲さむいべやまつり」での来客者も増加したことによるものと思われる。
	116.0	124.2	113.4	118.0	84.6	
長万部町	<b>520.4</b>	<b>172.4</b>	<b>348.0</b>	<b>506.2</b>	<b>14.2</b>	景気回復の兆しと観光PRの成果による増。しかし、3月11日以降からは激減した。
	112.0	99.0	119.8	113.0	85.5	
合 計	<b>9,538.9</b>	<b>4,702.3</b>	<b>4,836.6</b>	<b>6,355.0</b>	<b>3,183.9</b>	
	103.1	104.8	101.6	104.2	101.0	

※下段は対前年比